

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	5-2	政策名	持続可能で健全な財政経営	政策の目指す姿	財政を健全に維持しています	施策主管課	契約管財課	施策主管課長名	川村 晃
	施策No.	3	施策名	市有財産の適正な管理	施策の目指す姿	市有財産が良好に維持管理されています	関係課名	農村林務課		
	現状と課題	・市有財産の中には利用されていない土地・建物や老朽化の進んだ建物があります。市有財産の維持管理や更新には多額の経費が見込まれることから、予防保全の視点を取り入れた管理への転換が必要です。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)市有財産の効率的な管理 ○市有財産の適切な保有量とあり方の検討 ・保有施設の基礎調査(建築年次、面積、構造等)	
(2)市有財産の有効活用 ○未利用市有財産の売却促進 ・売却可能資産の掘り起し、測量・境界確定、支障物件の除去、価格の設定、公売 ○公共施設の長寿命化の推進 ・保有施設の基礎調査(建築年次、面積、構造等)	

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1	市有財産適正管理事業	契約管財課	A	売却を実施するにあたり、区画及び売却価格等の必要な整理を行うため活用されている。
	土地の売却のため、測量及び不動産鑑定を実施した。 (測量件数:5件、不動産鑑定:1件)			
2	市有財産適正管理事業	農村林務課	A	売却を実施するにあたり、区画の整理を行うため活用されている。
	遊休資産となっている旧大迫町大谷地牧野の有償譲渡にかかる測量を実施した。 (測量件数:1件)			
3	随時(一般行政経費)	契約管財課	B	売却まで結びつかない状況であるが、売却を促進する手段として有効である。
	競争入札への応募がなかった物件について、宅地建物取引業団体に買受希望者への媒介を依頼した。(チラシの配布:2回)			
4	随時(一般行政経費)	契約管財課	A	施設の長寿命化及び保有量の分析の基礎資料となっている。
	保有施設の基礎調査を実施した。 (建築年次、面積、構造等)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

・公共施設等総合管理計画の策定
公共施設の安全性の確保や、維持管理にかかる費用の軽減・平準化を目的とし、施設全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化を図る計画の策定が必要である。

6 施策の総合的な評価

(課題)

・公共施設の老朽化に対する検討が必要。

(今後の方向性)

・老朽化施設への、適切な維持管理・修繕を実施するにあたり、施設数や耐用年数、維持管理費、利用状況などの実態を把握し、公共施設の管理方法について、進むべき方向と実現可能な目標を検討する。